

MAYAサステナファーム八幡平

2024(令和6)年10月現在

◆MAYAサステナファーム八幡平とは


株式会社 MAYA SUSTAINERGY (マヤ サステナジー) が運営する圃場です。岩手県八幡平市上寄木で耕作放棄されたハウスを再生して、農福連携プロジェクトに取り組んでいます。また冬季は地熱発電から生まれた温水を活用することで、東北の地でバジルの周年栽培を実現しています。2024年春からはグループ会社が運営する就労継続支援 A 型事業所ハーモニー八幡平と連携し、より一層、プロジェクトを推進する体制となりました。



◆学びと体験のおすすめポイント

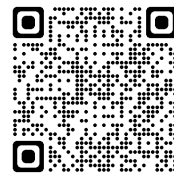
- ★普段使うエネルギーや再生可能エネルギーの有効活用を考えるきっかけになる。
- ★普段口にする食べ物の育ち方、使われるエネルギーに関心を持てる。
- ★未利用に農地やビニールハウスの再生など、地域の資源の利活用を考える機会になる。

◆受入概要

所在地	〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木第11地割300番地	
申込方法	HP内見学申込みページより申込みください。 URL : https://mayasustena.jp/visit/index.php	

◆問合せ先

株式会社 MAYA SUSTAINERGY (マヤ サステナジー)
〒163-0244 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル44階
TEL : 03-6831-0231 FAX : 03-6831-0232
(営業時間 平日 10:00~18:00)
HP : <https://mayasustena.jp/>



◆体験できるSDGs



再生可能エネルギーを活用することによる、資源利用の効率が高く、環境に配慮した農業を体験できます。

また、農業分野の担い手不足と、働く場所を求める福祉分野の連携により多様な役割や活躍の場をつくり、一人ひとりの存在を受け入れる共生社会をを実感することができます。

◆歴史的背景

私達の志は、「再生可能エネルギーと食料における、生産と消費の両立」という日本発の新たな一次産業モデルを推進していくこと。Sustainability（持続可能な）+Energy（エネルギー）を足した造語である社名、MAYA SUSTAINERGY（マヤ サステナジー）にその想いを託し、八幡平市や地域企業の皆さまと連携を図りながら、耕作放棄されてしまったビニールハウスを再利用して、バジルを中心に様々な野菜を栽培し、温泉バジルやその加工品を市場に提供しています。冬場は、松川温泉の熱水を利用し、また、「仕事としての農業について考えてみる！」ワークショップなども展開しています。さまざまなアイデア交換を通じて、参加される方々に事業や地域を知ってもらうことで、お互いの学びや成長、気づきの場にもつながっています。

